



# 桐生ロータリークラブ週報

国際ロータリー第2840地区 2024-2025年度 国際ロータリーのテーマ

2025年

THE MAGIC OF ROTARY

R.I 会長 ステファニーA. アーチック



善意というものがないなら  
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。  
職業は金儲けのためでしかなく、  
社会奉仕というも施しにすぎず、  
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー 前原 勝樹

会長 園田 誠 幹事 丹羽あゆみ

クラブ会報・情報委員会 新川桂子・小島麻紀緒・柳明彦・木村洋一・栗原大介

1月27日号

第3278回例会

(1月15日(水)第2例会-夜間例会-)

美喜仁桐生文化会館 スカイホールにて

## 歓 迎

国際ロータリー第2840地区 森 末廣ガバナー桐生4RC 合同公式訪問

司会:桐生RC 幹事 丹羽あゆみ君

1.点 鐘 桐生RC 会長 園田 誠君

2.ロータリーソング斉唱

3.ガバナー歓迎挨拶

桐生RC 会長  
園田 誠君



4.ガバナー講話

第2840地区  
ガバナー  
森 末廣君



クラブを強く、たくましく — GROW ROTARY —

① ステファニーA.アーチック RI 会長の

メッセージ・テーマ

○平和を優先する

アーチック氏は、ロータリーの行動計画を推進し、継続と変化のバランスを取り、平和のために活動するよう会員に促しました。2025年には「分断された世界を癒す」をテーマに会長主催平和会議を開催する予定となっています。「ロータリー平和フェローシップは、紛争を終わらせ、予防するきっかけとなる平和・開発の専門家を世界各地で育成するために、20年以上前に始まりました」とアーチック氏。

「この会議は、ロータリーの平和活動に焦点を当て、ともに学ぶ機会となります」

○継続と変化のバランス

また、継続と変化のバランスを取ることの必要性も強調し、どちらもロータリー行動計画の原動力であると述べました。

「この計画は、ロータリーの最善のアイデアを捨てるのではなく、それを土台として築いていくもの」とアーチック氏。「私たちは、バランスを取るという難題に直面しています。自分たちを変えつつも、自分たちの真の姿に忠実であり続けなければなりません」アーチック氏は、好ましい変化をもたらす一つの方法は、クラブで多様性、公平さ、インクルージョン(DEI)の原則を取り入れることであると述べました。

「行動志向の次世代の人たちをオープンな心で迎えていただけることを願っています。たとえ、地元クラブの典型的な会員とは異なるタイプの人であっても」とアーチック氏。

「DEIを受け入れれば、共通の目的のために結束しやすくなります。ともに献身し、力を注げば、ロータリーは最も効果的で時代に即した存在になることができます」

会長イニシアティブ

- 1.最優先課題は会員増強を図る行動計画を推進すること〜3-Years Rolling Goals (3年間の目標と計画)
- 2.ロータリーのマジック〜クラブでの体験を魅力的なものとする〜ロータリーの行動計画、ロータリーの強さを維持するため
- 3.積極的な平和を通じて分断された世界を癒やすこと〜4つのテストの重要性・ピースポール(平和の塔)プロジェクトの推進

#### 4.継続性

～前任者や後任者と協力すること・クラブが取り組んで来たことやクラブに根付いていることに目を向けること

1.3-Years Rolling Goals を前提とし、2024-2025 中には各地区で純増 100 名を目指して下さい。

2.各地区で4から5クラブの新規クラブを立ち上げて下さい。

② 3年間の目標「3-year Rolling Goals」

国際ロータリーの理事会は、活動や目標の継続性を重要な課題と位置づけ、2024-2025 年度をトライアル期間の初年度とし、地区やクラブに対し理解と協力を要請しています。これはクラブの発展と活性化のためにおこなうものです。

私たちが時代の変化とともに具体的に変化していくために、RI の提唱するこの方法を「新たな挑戦のチャンス」と捉え実践してみましょう。

3 年間のグローバルトライアルを設定しそのプログラムを実施します。

1.2024 年 7 月 1 日から、ゾーン、地区、およびクラブに対する 3 年間の目標とローリングターゲット(年度ごとに見直す)プランを実施します。

2.Rotary Club Central をマルチヤーターゲットダッシュボード(複数年目標一覧表示)として刷新し、組織的に目標を整えます。

3.上記をサポートするためのリソースと学習プログラムを開発します。

4.プログラムの評価を 2027 年から 2028 年にかけて行います。

3 年間の目標のキーワード

- ・継続性の文化を醸成する
- ・持続可能な勢いを構築する
- ・重要な項目の測定をおこなう
- ・SMART ターゲット

・RI の目標との整合性をとる

・会員の参加を促す(これが成功の鍵)

3 年間の目標設定の具体的項目は「行動計画(方針)」の 4 つの優先事項に基づいています

- ・より大きなインパクトをもたらす
- ・参加者の基盤を広げる
- ・参加者の積極的な関わりを促す
- ・適応力を高める

会員増強、クラブの奉仕・親睦活動、ポリオ根絶、ロータリー財団への寄付、クラブの戦略計画、公共イメージとコミュニケーション

具体的にどうすれば良いのでしょうか？(クラブ)

①3年間の目標入力と管理は、「クラブセントラル」でおこないます。クラブセントラルは現在 RI によって3年の目標が設定できるように変更中ですので、まずは次年度の目標数値を入力して下さい。

②3 年間の目標を立てたら、毎年目標の達成度を検証し、必要に応じて次年度以降の目標を再設定して下さい。(Rolling Target)

③3年間の目標を設定するため、向こう3年間の会長候補者や委員長、理事会などを巻き込んだ議論が必要になります。場合によっては委員長の任期を複数年

にするなど、より継続性を担保する方法をクラブの新しい文化として取り入れる必要があるかも知れません。(継続性)

④目標を設定したら4半期ごとに進捗や達成度の管理を行なって下さい。

具体的にどうすれば良いのでしょうか？(地区)

①ガバナーやガバナー補佐、及び関連する地区委員長は、「クラブセントラルでクラブの目標設定(入力)と達成度の進捗」を管理し、必要に応じてサポートをおこなって下さい。

②クラブの3年間の目標と計画の実践をサポートできる体制を構築して下さい。(マイロータリー登録、クラブセントラルの使い方、新クラブ設立のノウハウ、行動計画の知識習得等のセミナー開催など)

③3年間の目標達成の責任者(プランリーダー)を選任し、PG、AG、GN、GND や担当の地区委員長を巻き込んだ幅広い議論の場を設けて下さい。

④また、「行動計画推進者(アクションプランチャンピオン)」を1名以上専任し、クラブへの理解浸透を図ってください。

地区への研修実施などアドバイスが必要な場合は、各地域リーダー(ロータリーコーディネーター、アクションプラン推進者など)に依頼をお願いします。

\*クラブセントラルの改変作業のスケジュールは現在確認中です。

③ 地区スローガンと数値目標

さて第2840地区の地区運営上の課題で最も強く感じていることは、「地区とクラブの距離感」・「奉仕・運営の連続性」が不十分ではないかということです。

ガバナーの役割は、「クラブの運営・奉仕を後押しする」(クラブを後方支援する)しかしながら、十分な支援・情報の共有が必ずしも出来ていないように感じます。本来、ロータリーの地区・クラブ運営は単年度であり、その長所を生かしつつ、実践した事業等を評価し、継続性を図るべきものと考えます。

ロータリークラブは、各クラブが主体性を持ち、ロータリアン一人一人が自主的な活動によってクラブが成り立っています。ロータリアン一人一人が主役です。そして更に地域に根差し、地域に必要とされるクラブ作りが必要だと考えます。

また、企業と同様に戦略計画に沿って、継続的に発展することも必要です。

こうした要請をふまえ 2024-2025 年の地区スローガンは、「会員一人一人が主役、つながりを広げ、さあ行動しよう」“Let’s be a center of Rotary, connect the world and take action!”

クラブがロータリー行動計画、クラブの戦略計画に基づいてよりよくなるために変化し、ロータリーの強さを維持できるように、会員一人一人が参加し積極的な関わりを促せる支援をお願い致します。

<重点実行項目>

1.地区内全クラブが、ロータリー賞(クラブ優秀賞)の受賞を目指す。(全クラブの登録)

2.会員増強

組織を維持運営するには、どうしても会員増強が必要です。クラブを活性化するために、若い人や女性会

員の増強を行う。ローターアクトクラブも同様に会員増強を行う。

3.マイロータリーの登録（目標85%）

4.地区における各委員会の活発な事業活動を推進する。各クラブへの支援と会員の積極的な参加を促す

5.ロータリー財団補助金を地区内すべてのクラブが活用する。複数クラブでの合同事業も検討する。

6.新クラブの設立

7.2023-26 地区3ヶ年戦略計画をクラブと共に推進

8.数値目標

各クラブへの支援と会員の積極的な参加を促す。

- ・会員増強 各クラブ会員純増 2名
- ・寄付 ロータリー財団 年次寄付 150ドル以上/人  
ポリオプラス 30ドル以上/人
- ・米山記念奨学会(普通寄付・特別寄付合計で)  
16,000円以上/人

「ロータリーのマジック」

会員一人一人が主役・参加すること

会員一人一人がクラブ・地区を支えている

会員一人一人が会費・寄付を払って何かを得る

新しい友と親睦を図り奉仕活動を行い、  
感動・学び、そしてみんなが幸せになる。

#### ④ 国際大会の案内



#### 米山奨学金授与

桐生西 RC  
ゲン ティ マイ フォン君  
(ベトナム)

桐生 RC  
劉 躍 君



5.点 鐘

6.歓迎会懇親会

7. 乾 杯

桐生南 RC  
会長 山極進一君



8.ゞ

桐生西 RC  
会長 山同輝和君



9.手に手つないで



10.閉 会

桐生赤城 RC  
会長 松島和代君





**桐生4RC 合同懇談会**  
**美喜仁桐生文化会館 第1会議室にて**

司会:群馬第2分区Aガバナー補佐 増田浩三君

1.開会及び趣旨説明

群馬第2分区Aガバナー補佐 増田浩三君

2.各RCより現況報告

財団・米山・マイロータリー登録

ロータリーセントラルへ登録した項目の状況など  
 会員増強委員長より、

会員増強の状況及び取組姿勢を発表

入会3年未満の会員は、入会前のRCイメージと

入会後の感想、要望等を簡単に発表

3.森ガバナーとの質疑応答・講評

会長、幹事、地区役員、会員増強委員長、入会3年未満の会員として、齊田君、青野君、小西君が出席しました。



地区役員の皆様

